

ベトナム・フーイエン大学の短期海外研修を終えて

ベトナム研修に参加して良かったと思うことはたくさんあるが、その中でもより自分の学びにつながったことを挙げ、述べていく。

まず一つ目に、コミュニケーション能力が向上したと感ずることである。日本語での会話はもちろん成り立たないので英語での会話となるが、自分の伝えたいことはどのようにしたら伝わるか、また聞き取るためにはどのようなことに意識して聞いたらいいのか等を意識してコミュニケーションを図った。海外経験に乏しく英語力に自信がない中で、会話をするために全神経を注いだことによって、コミュニケーション能力とその方法を対話的に学ぶことができたと感じている。

二つ目はベトナムの生活文化に触れられたことで、世界の広さや様々な日本と異なる常識を学べたことである。交通事情の違いや水道水が飲めない等、海外ならではの生活文化に触れることができた。日本で当たり前なことがベトナムでは当たり前でなかったりすることが多々あったが、それは逆もまた然りである。そのような文化の違いに触れられたことで、自分の視野を広げることができた。

最後に、海外というだけあって言語の壁に苦しむことが一番辛いことであった。しかし、様々なコミュニケーション手段を使って会話が成り立った時の喜びは今でも忘れない。交流を通してベトナムの大学生とも友達になることができ、自分の国際的な人脈を広げることができたのが何よりも嬉しかったことである。初めは不安で仕方ない時もあったが、研修が進んでいくにつれて、もっと海外を知りたい、英語を学んでもっと会話できるようになりたいという気持ちが高まった。この研修で得た発見や出会いに感謝し、今後に生かしていきたいと思う。

このような一生に残る思い出の機会を与えてくださったベトナム・フーイエン大学の皆様、和歌山信愛大学の先生方、一緒にベトナム研修に参加した仲間達、本当にありがとうございました。